[第3部]平城遷都1300年祭や恒久対策に 向けた評価改善計画

平成22年2月12日

奈良県土木部道路建設課

目次

1.	基本的な考え方・・・・・・・・・・・2
2.	「STEP 1 」日々の評価改善計画・・・・・・・ 3
3.	「STEP 2 」フェア期間ごとの評価改善計画・・・・ 4
4.	「STEP3」恒久的対策に向けた評価改善計画・・・・フ
5.	分析に必要なデータ・調査概要・・・・・・ 1 C
6	今後のスケジュール・・・・・・・・・13

1. 基本的な考え方

フェア期間中に実施する各種交通施策について、以下の流れで評価改善を実施する。

STEP1:日々の評価改善



STEP2:フェア期間ごとの評価検証と 次期フェアへの反映



STEP3: 奈良中心部の恒久的な渋滞対策に 寄与する交通施策の評価

2. STEP1 日々の評価改善計画

(1)目的

各期フェア中に来場された方のご意見や要望を参考に、運営改善や案内誘導の改善を行う。

(2)評価項目と改善の視点

く評価項目>

<改善の視点>

ア. 案内・誘導施策

1) 改善すべき案内・誘導内容

例:案内看板の配置、案内看板の視認性の向上等

イ、円滑なP&BR運営

1) 駐車場場内の適切な案内誘導

例:空き駐車桝への誘導、出入り口での誘導 等

2)シャトルバスの適切な運行

例:バス運行の定時制確保、交通情報の利用者への提供等

(3)改善に必要なデータ、調査事項

ア、案内・誘導施策

く改善に必要なデータ、調査事項>

1) 改善すべき案内・誘導内容

P&BR運営データ(苦情・要望)

イ. 円滑なP&BR運営

1) 駐車場場内の適切な案内誘導

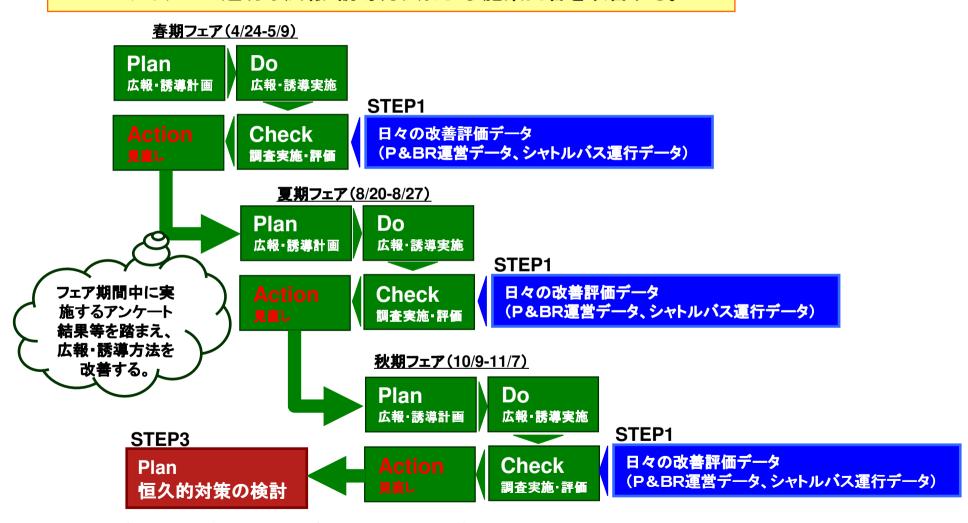
2)シャトルバスの適切な運行

シャトルバス運行・運営データ

フェア期間ごとの評価改善計画

(1)目的

PDCAサイクルで適切な広報・誘導方法および施策内容を改善する。



各期フェアの結果を踏まえ、奈良中心部の渋滞対策に 寄与する交通施策の評価

3. STEP2 フェア期間ごとの評価改善計画

(2)評価項目と分析の視点

<評価項目>

<分析の視点>

- ア. 広報、案内・誘導施策の有効性
 - a. 鉄道・団体バスへの転換効果
 - b. P&BRへの誘導効果

- 1) 広報によるマイカーから公共交通への転換効果
- 2)効果的な広報手法、改善すべき広報内容
- 3)効果的な案内・誘導施策、改善すべき案内・誘導内容
- 4) フェア期間でのP&BR利用による市中心部の渋滞緩和

- イ. 円滑なP&BR運営
- a. P&BR駐車場の円滑な運営
- b. シャトルバスの円滑な運行

- 1) 適正なP&BR駐車場の規模・サービス施設内容
- 2) 駐車場入口部および駐車場内での円滑な誘導
- 3) 駐車場内の円滑な歩行者誘導
- 4)シャトルバスの最適な運行ルート、運行便数

フェア期間ごとの評価改善計画

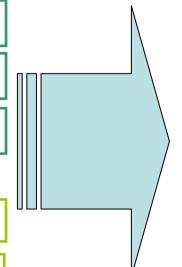
(3)分析に必要なデータ、調査事項

ア、広報、案内・誘導施策の有効性

- 1)広報によるマイカーから公共交通への 転換効果
- 2)効果的な広報手法、改善すべき広報内容
- 3)効果的な案内・誘導施策、改善すべき 案内・誘導内容
- 4)フェア期間でのP&BR利用による市中心部の渋滞緩和

イ. 円滑なP&BR運営

- 1) 適正なP&BR駐車場の規模・サービス施設内容
- 2) 駐車場入口部および駐車場内での円滑 な誘導
- 3) 駐車場内の円滑な歩行者誘導
- 4)シャトルバスの最適な運行ルート、運行便数



<分析に必要なデータ、調査事項>

①現地調査

- •交通量調查•渋滞長調查
- ・プローブ調査
- ・駐車場出入口・待ち行列調査 等

②アンケート・ヒアリング調査

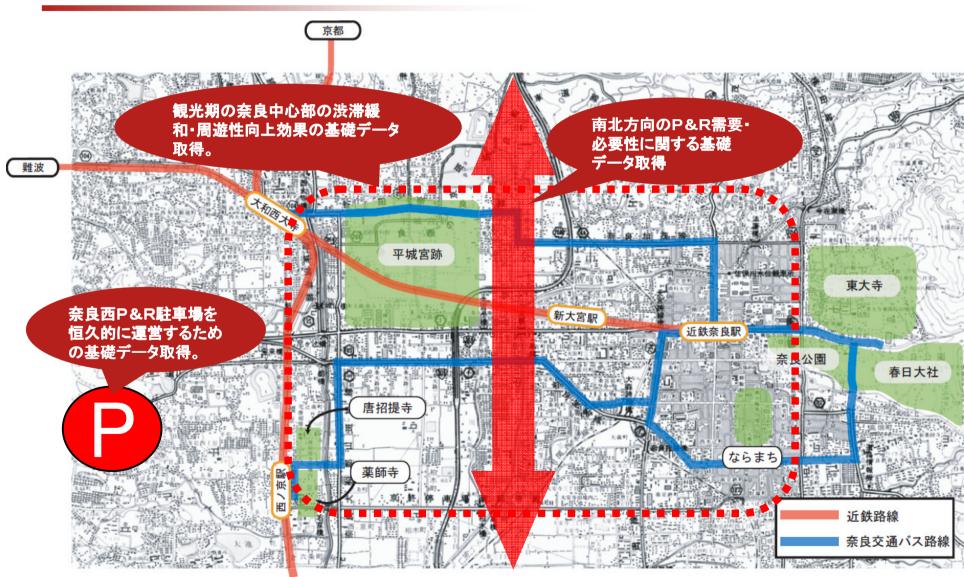
- P&BR利用者アンケート
- ・ 〃 ヒアリング
- ・宮跡会場アンケート
- ・ " ヒアリング
- WEBアンケート
- ・ 市民アンケート

③その他データ

- -JARTIC統計データ
- -P&BR運営データ
- ・シャトルバス運行データ
- 駅シャトルバス運行データ
- ・鉄道利用者統計データ

恒久的対策に向けた評価改善計画

(1)目的



恒久的対策に向けた評価改善計画

(2)評価項目と分析の視点

<評価項目>

<分析の視点>

- ア. 奈良西P&BR駐車場の恒久的運営要件
- 1)必要な駐車容量、料金体系
- 2) 恒久的に運営時の収支、シャトルバスのサービス条件、施設サービス内容
- 3) バス専用レーンや周遊バス、情報提供施策など総合 的な交通施策のあり方

イ. 南北方向のP&R需要・必要性

1) 南北方向の駐車需要、今後の幹線道路網形態から導かれる駐車容量と立地位置

ウ. 観光期の交通対策による渋滞緩和・ 周遊性向上効果

- 1) 観光期の交通対策による中心部の渋滞緩和効果
- 2)交通施策実施による立ち寄り施設数、観光インパクトの増加効果

恒久的対策に向けた評価改善計画

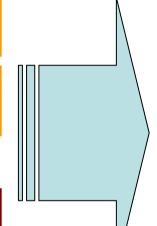
(3)分析に必要なデータ、調査事項

ア. 奈良西P&BR駐車場の恒久的な運営要件

- 1)必要な駐車容量、料金体系
- 2) 恒久的に運営時の収支、シャトルバスのサービス条件、施設サービス内容
- 3) バス専用レーンや周遊バス、情報提供施策などパッケージ交通施策

<u>イ. 南北方向のP&BR需要の適切な処理</u> 形態

- 1)南北方向の駐車需要、今後の幹線道路網形態から導かれる駐車容量と立地位置
- <u>ウ. フェア期間の交通対策による渋滞緩和・</u> 周遊性向上効果
- 1)フェア期間の交通対策による中心部の渋滞緩和効果
- 2) 交通施策実施による立ち寄り施設数、観光インパクトの増加効果



<分析に必要なデータ、調査事項>

①現地調査

- •交通量調查•渋滞長調查
- ・プローブ調査
- ・駐車場出入口・待ち行列調査

②アンケート・ヒアリング調査

- P&BR利用者アンケート
- " ヒアリング
- ・ 宮跡会場アンケート
- " ヒアリング
- WEBアンケート
- ・ 市民アンケート

③その他データ

- -JARTIC統計データ
- -P&BR運営データ
- ・シャトルバス運行データ
- ・駅シャトルバス運行データ
- ・鉄道利用者統計データ

5. 分析に必要なデータ・調査概要

①現地調査概要

交差点交通量調查 · 渋滞長調査

O21箇所

・P&BRアクセスルート上:11箇所・P&BR誤通過ルート上:5箇所・会場周辺の交通:5箇所

〇12時間交通量調査、ピーク時3時間渋滞長調査

O6日(事前1·春2·夏1·秋2)

プローブ調査

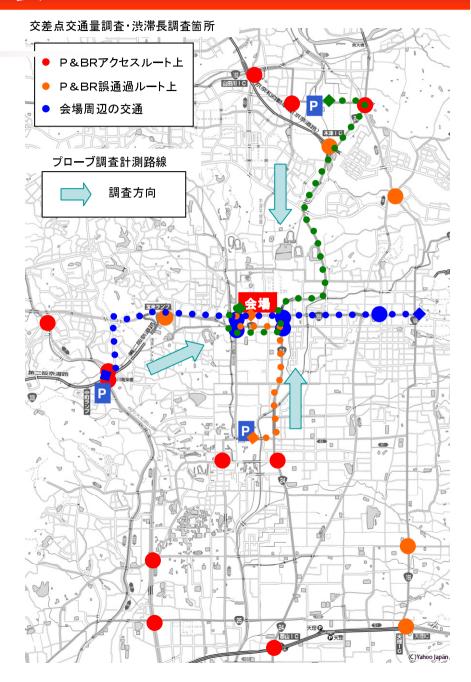
〇奈良西駐車場~県庁東交差点 木津川市駐車場~会場 大和郡山市駐車場~会場

〇プローブ車両走行による旅行速度調査(7~17時)

O6日(事前1·春2·夏1·秋2)

駐車場出入口・待ち行列調査

- 〇奈良西駐車場、木津川市駐車場、大和郡山市駐車場
- 〇駐車場入口および出口の車両待ち台数
- 〇5日(春2-夏1-秋2)



5. 分析に必要なデータ 調査概要

②アンケート・ヒアリング調査概要

アンケート調査名	方式		想定規模	主な設問項目
P&BR駐車場利用者 アンケート	手渡し配布・ 郵送回収	12,000部 配布	3駐車場×200部/箇 所·日×20日 (春7·夏3·秋10)	広報・誘導媒体別認知度、迷走 有無、支払い意志額、継続利用 意志 等
P&BR駐車場利用者 ヒアリング	対面式 ヒアリング	1,500部	3駐車場×100部/箇 所·日×5日 (春2·夏1·秋2)	広報・誘導媒体別認知度、迷走 有無、利用経路、希望する駐車 場内のサービス施設 等
宮跡会場アンケート	手渡し配布・ 郵送回収	10,000部 配布	500部/日×20日 (春7·夏3·秋10)	会場までの交通手段、広報・誘 導媒体別認知度、公共交通へ の転換理由、P&BRを利用しな い理由等
宮跡会場ヒアリング	対面式 ヒアリング	1,000人	200部/日×5日 (春2·夏1·秋2)	会場までの交通手段、広報・誘 導媒体別認知度、公共交通へ の転換理由、周遊観光の有無
WEBアンケート	WEB方式	5,000 サンプル	1,000人/回×5回 (事前1·春1·夏1·秋2)	1300年記念の認知度、交通施 策の認知度、WEBページの評価 等
市民アンケート	ポスティング 配布・郵送回収	5,000 サンプル	1回 (秋後)	交通施策の認知度、恒久施策 に対する地域の意向等

5. 分析に必要なデータ・調査概要

③その他データ概要

データ種類	概要	取得期間
JARTIC統計データ	過去のVICS情報により、渋滞データを算定したもの	フェア期間と前年同月デー タ
P&BR運営データ	時間帯別入庫台数、時間別バス利用台数、来訪者 からの苦情・要望など、運営担当が取得しているデー タ	フェア期間
シャトルバス運行データ	シャトルバスの便別出発時間と到着時間など運営担 当が取得しているデータ	フェア期間

6. 今後のスケジュール

